

保護者の皆様

令和 5年3月1日
高槻市立北清水幼稚園

令和4年度 北清水幼稚園 保護者アンケートの結果について

平素は本園の教育にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。11月に実施いたしました保護者アンケートの結果を集約し本園として考察を行いましたので、お知らせいたします。アンケートの貴重なご回答は、今後の教育活動の計画・実施に活用させていただきます。

実施日 11/25 ～ 11/30
回収率 96.7% (調査人数31人 回収人数30人)



<アンケート集計結果のまとめ>

アンケート評価の視点では、「そう思う」と「ややそう思う」を肯定的評価としますと、ほとんどの項目において80%以上の回答をいただいております。今年度の教育目標達成に向けて取り組んできたことについて、保護者の皆様の理解をほぼ得られていると思われま

◎お子さんは について (項目1～6)

- ・北清水幼稚園の子ども達は、幼稚園に行くことを楽しんでおり、肯定的評価が100%の結果となりました。また、友達と遊ぶ楽しさを感じています。
- ・「自分のことを自分でしようとする」「必要な時にありがとうございますをいおうとするようになってきた」「して良いこと・悪いことを考えて行動しようとする」「約束を守って遊ぶようになってきた」の項目からは、4月からの成長が伺えます。自分でしようとする意欲が高まり、考えて行動しできるようになっています。引き続き、思いを表現して分かり合える心地よさや、約束を守って遊ぶことで遊びが深まる楽しさを伝えていきたいと思

◎保護者の方は について (項目7から16)

- ・保護者の方々は子どもと触れ合う時間を大切に、周りの人との協力のもと、子育てを楽しまれていることがわかりました。また、基本的な生活習慣が身につくよう心がけておられることも、アンケート結果から読み取れました。
- ・新しい生活様式 (with コロナ) の理解が広がり、PTA活動も少しずつ戻りつつあります。主旨や内容をわかりやすく発信しながら、引き続き、どの保護者の方も参加や協力ができる工夫をしていきたいと思

◎幼稚園は について（項目17から28）

- ・12項目全てにおいて、肯定的評価が90%以上となっています。
- ・教育方針や子どもの様子は保護者の皆様に伝わり、理解が得られていると読み取りました。今後も懇談会や日々の伝達、「園だより」「クラスだより」「生活写真貼り出し」等で、機会を逃さず伝えていきます。
- ・身の回りの始末など、基本的な生活習慣は、毎日の生活の中で繰り返し取り組むことで、身についています。学級活動時に具体的に指導し、保護者の皆様には「ほけんだより」等で情報を発信し、今後も家庭との連携の絆が深まるよう進めていきたいと思いをしています。片づけについては、片づけると心地良いこと、次に使いやすいことなどを具体的に感じ実現する姿が見られます。
- ・朝の園門での挨拶は、保護者の方と一緒に挨拶するのが恥ずかしいという姿も見受けられますが、園生活のなかでは友達と様々な挨拶を交わすことで気持ちが伝わり親しきが増してきています。教師自身が気軽に挨拶を交わしたり、感謝やお礼の気持ちを伝えたりする姿を示すことで、言葉を交わす心地良さや大切さを学んでほしいと願っています。
- ・親子での栽培活動を通して自然に親しみ、命の大切さや不思議さに気付き、収穫の喜びを味わってきました。本園は豊かな自然に恵まれ、その大きさ・美しさ・不思議さなどを全身で感じ取る体験ができる環境にあります。その感動体験は、自然に対する畏敬の念、親しみ、愛情を育てると共に、科学的な見方や考え方の芽生えを培う基礎となります。本園ならではの教育環境を活かし、豊かな感性を育てていきたいと思いをしています。
- ・不審者対応については、幼稚園園門は登降園時以外は施錠し、開錠時には職員が見守りをしています。同一敷地内の小学校とも連携を行い、園内外の安全に取り組んでいます。引き続き、園児の安全確保に努めてまいります。



<評議員の方々からのご意見>

令和4年度評議員の皆様

高槻市立北清水小学校校長

野の花文庫主宰者

琴奏者・指導ボランティア/高槻市立北清水幼稚園元保護者

令和5年2月に評議員会及び保育参観を開催し、教育アンケートの結果について、ご意見をいただきました。

- ・全ての項目が高評価であるのは喜ばしいことで、保護者方の信頼を得ていると読み取れます。
- ・劇遊びでは、年長児は友達と心を通わせ、協力して進めて行く力がついていると感じました。各々が楽しみどころ、頑張りどころを出しながら、リラックスして楽しんでいま

した。全員が登場して演じる後半はのびのびとしており、友達と共に活動する楽しさが伝わってきました。

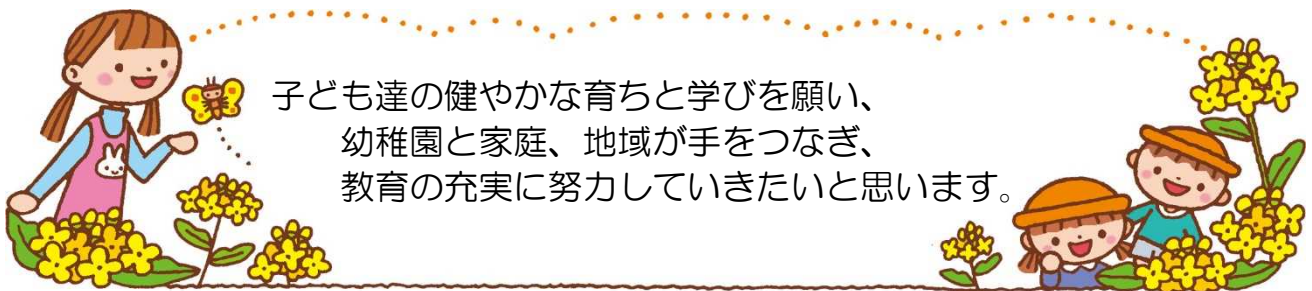
- ・北清水幼稚園の自然環境は素晴らしく、園を訪れるだけで心地よい空間があります。
- ・子ども達は、それぞれの違い（多様性）を受け止め、楽しんで遊んでいる。5歳児が4歳児に優しいのは、異年齢児学級保育の良さであると思います。
- ・保護者は園児と温かく関り、保育や園行事に協力し積極的に関わっています。

<今後も取り組むこと>

- ・遊びや生活に興味関心をもって取り組み、試したり、繰り返し楽しんだりできる豊かな環境を整える。
- ・基本的な生活習慣が身につくようにする。
- ・異年齢児学級の中で友達や様々な人と関わり、互いに違いを認め合う。
- ・いざという時に自分で考えて行動できるよう安全教育を推進すると共に、門の施錠や来園者などの安全確認を徹底する。
- ・自然とのふれあいや栽培活動を通して、命の大切さを感じられるようにする。
- ・保護者の方が無理なく安全に参加できる行事やPTA活動を行う。

なかよしタイムや野の花文庫ではボランティアの方々との関わりを楽しみ、親しみがもてています。子ども達は自分らしく、のびのびと遊び、現在の姿となっています。このような園生活ができるのは、保護者の方々のご理解とご協力、地域の方々のお力のおかげだと感謝しています。今年度も新型コロナウイルス感染症予防対策のため、各家庭で健康管理に多くのご配慮をいただきました。感染対策で学級全員が揃いにくい状況のなか、新しい生活様式に合わせた保育のあり方、環境との関わり方や行事のもち方について検討し、再考する機会となりました。

保護者の皆様のアンケートへのご回答、評議員の方々からのご意見や励ましに、心からお礼申し上げます。ありがとうございました。アンケート結果やご意見を真摯に受け止め、職員一同、更なる努力をしてまいります。



子ども達の健やかな育ちと学びを願い、
幼稚園と家庭、地域が手をつなぎ、
教育の充実に努力していきたいと思ひます。

